

2007 年度

科目名 児童文学論 A	対象学科・学年 文学部日文1 回生	担当者 森崎 光子
授業テーマ 宮沢賢治の文学 1		
授業の概要と目標 宮沢賢治の童話は、児童文学のなかで不朽の名作として高い評価を受けている。子どもから大人まで幅広い読者に愛され、支持されている。賢治の童話がとっつきやすいからであるが、しかし、実は奥が深く、様々な深読みを許容する作品でもある。この授業では、まず賢治の生涯を概観し、次に代表作のいくつかを読んでいきたい。賢治童話の魅力とその奥行きを、いささかなりとも味わっていきたい。		
評価方法 授業中、適宜課すレポートと、出席状況によって評価する。		
テキスト 新編 銀河鉄道の夜（新潮文庫）	著者 宮沢賢治	出版社 新潮社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 授業の内容・進め方の説明、受講にあたっての注意 2～5. 宮沢賢治の生涯 6～7. 「よだかの星」内容分析 8. レポートの書き方 9～14. 「銀河鉄道の夜」内容分析 15. まとめ		